

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

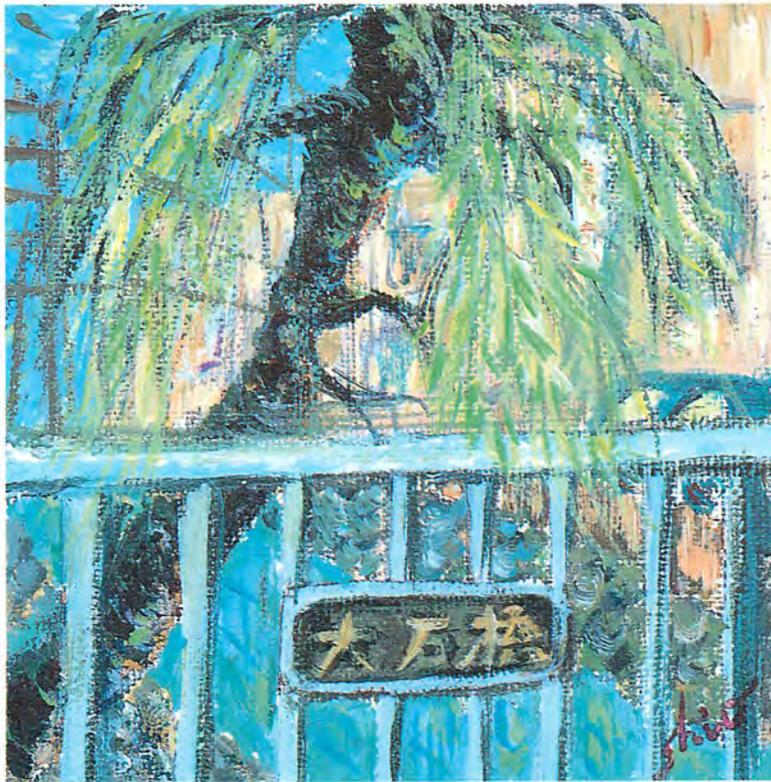
up

'92

6

月号【1日発行】**無料**

映画音楽とクラシックの名曲
サマーナイトコンサートの前売り迫る



大石橋



いまを話す

市生涯学習基本計画をまとめる確井正久さん
ヒットラーも推進者?

もくじ

連載「いまを話す」碓井正久さん(東大名誉教授)

ヒットラーも生涯学習の推進者?

川崎 住民主体のシステムを

●随想・異質が魅力の友好都市 高橋清 川崎市長

●はりきってます グループ紹介

楽譜を点訳する アンダンテ

■心のふる 私の一冊

「沈黙」川崎市麻生区、室伏さん 「夏姫春秋」川崎市幸区、中山さん

学習・文化情報・会員募集

サマーナイトコンサート前売り迫る!

◆投稿と推薦のお願い

「ステージ・アップ」配布場所・どくしゃの声

ミニ・ニュース ◆編集後記

●随想カッター 田村あや

●表紙絵 田島志織



当事業団は小田急線新百合ヶ丘駅下車、徒歩1分です

多目的ホール 研修室 会議室のご利用は

☎044-952-5000へお願いします

当事業団は 12月29日～翌年1月3日を除き 無休で開館して
います 多目的ホール(504席)研修室(24～30席)会議室(20席)の
ご予約・お申し込みは 午前9時から午後5時まで(土曜日の午後
と日曜日を除く)です

◎随想◎

高橋清

川崎市長

思いつくまま ③



川崎市とオーストリアのザルツブルク市との友好都市提携調印式が四月十七日、洗足学園大の前田ホールでありました。ハラルド・レットナー市長を団長とする十人の代表団が川崎を訪れ、千人の市民が見守る中、記念コンサートも開かれ、盛大な式典でした。

「ヨーロッパの古都・音楽の都」ザルツブルクと川崎が友好都市を結んだことに、奇異な感じを抱かれた方もいることでしょう。事実、両市の成り立ちや歴史をみても、共通項を見出すことは難しいのです。

そのきっかけは昨年、洗足学園大の前田学長の肝入りで、同大ホールで開いた「モーツァルト没後二百年記念公演」オープニングコンサートです。私は、来川されたレットナー市長を紹介されました。その時、友好都市提携など考えもおよびませんでした。

しかし、いま思えば「縁は異なるもの」です。若い男女が、自分ない魅力にひかれ、新しいカップルが誕生するケースに似ています。モーツァルトが両市の縁をとりもつ形で、異質な二つの市がお互いの良さを認めあい、自分の足らざるところを補っていくことになつたのです。

異質が魅力の友好都市

これを機に、ザルツブルク市は芸術文化面での支援を約束されました。世界の音楽都市との交流は、これから川崎市が取り組まなければならぬ。「文化性豊かな都市づくり」に刺激を与えてくれるものと確信しています。

一方、ザルツブルク市も、活力に満ちた東洋の都市との交流によって、千年余にわたる伝統の中で磨かれた文化・観光都市に、新し

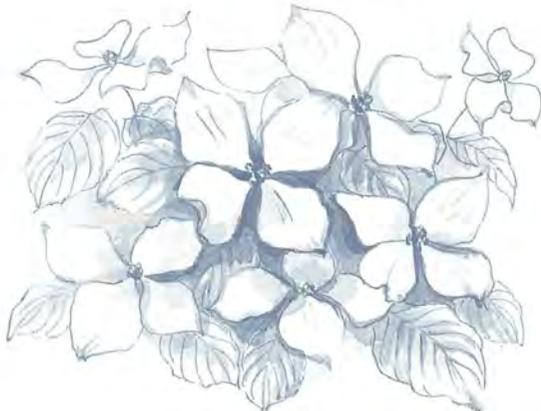
い可能性と魅力を引き出す機会と、とらえているようです。

私は一昨年夏、同市を訪れましたが、アルプスの山並みを後背に、ゆったりと流れるザルツアツハ川の兩岸に広がる街でした。その光景は、周囲の自然としっかりと溶け込み、旧い家並や石畳の道の一つひとつの寸景にも、磨き込まれた伝統の奥行きを強く印象づけられました。そして、街全体のたたずまいが、ヨーロッパの気品に満ちた伝統文化をみごとに映し出している感を抱いたものでした。

同市はオーストリアの中部にあたり人口は十四万人。東部アルプスの山裾に広がる小高い丘に囲まれた風光明媚な観光・保養都市です。また、モーツァルトの生地としても有名で、毎夏開かれる音楽祭には、世界各地から音楽愛好家が、大挙して訪れる音楽の都です。

都市としての歴史も古く、古代ローマ時代からヨーロッパを南北につなぐ交易の要衝地として栄え、中世に建てられたホーエンザルツブルク城を中心に、市街にはバロック様式の名建築物が多く、ヨーロッパの代表的な古都と言えます。

私は数回、レットナー市長と懇談しました。ザルツブルクへの誇りと愛着の情から伝わる気構えに、私は学びたいと思いました。それは「都市の個性や伝統は、守るものではなく創るものである」との



言葉に集約されています。そこに、歴史的に異なった道をたどった両市に共通する都市づくりの王道が込められている印象を受けました。

(四月十九日記す)



川崎の生涯学習の在り方を話す

碓井正久 さん

いまを話す

インタビューー 篠沢惺子さん(区民シネマ)

Vol.6



碓井正久さんはわが国社会教育の権威。「お堅い大学の先生」のイメージが全くなく、インタビューアも驚く。笑顔を絶やさず市民が一生涯、学習するメリットを話し、行政への注文もズバリ。「勉強なんてマツピラ」という方が、これを読めば考えが変わる？川崎の生涯学習の核は、地域教育会議。「意見や悩みを自由に話せる住民のコミュニケーション・センター」と明快に語る。今年度中に「生涯学習基本計画策定調査委」の報告が出る。その委員長が碓井さん。

生涯学習

ヒットラーも推進者？

川崎 住民主体のシステムを

初めてお目にかかります。なぜ、いま生涯学習の必要性が強調されているのでしょうか。

碓井さん 人間は死ぬまで、いろいろな形で勉強していますね。「生涯学習」は堅い感じもし、的確な言葉があればと……。生涯教育はだれかに教わる。生涯学習は自分が自主的にやる意味だと中央教育審議会では言っています。

生涯学習と社会教育との違いはあるのですか。

碓井さん ユネスコが生涯教育と言いつつ出したのが一九六五年頃。それ以前の一九一九年頃の第一次

世界大戦後、英国政府は戦後社会をどうするかで、いくつかの委員会を作りました。そして、国民の「揺かごから墓場まで」の生活を保障する福祉国家の建設を基本方針にしました。その委員会の一つが「人間の学習は生涯つづくのだ。国はこれを保障しなければならぬ」とのレポートを出しました。

ほー、そうなんですか。

碓井さん 米国でも一九三〇年頃、同じようなことを教育学者や心理学者が主張しています。第一次世界大戦前までは「大人になって、新しい勉強をするのは無理だ」

との考えが常識だった。それが人間には一生涯、勉強する能力があると認識が変わったのです。しかし生涯教育、生涯学習が言葉として定着しませんでした。

それは、なぜですか。

碓井さん ドイツは、犯罪者を罰する最も重い刑が終身刑です。刑務所でその受刑者を教育すること

を生涯教育と言います。また、ヒットラーは「優秀な民族の自覚を持つため一生涯勉強せよ」と説きました。欧米などでも「政府が生涯教育を推進するのは、権力者が国民を困らせないためだ」と拒否反応が強かったからです。

わが国でも国策に従わせるためと、危惧する人もいますね。

碓井さん ええ、戦前、軍国主義が進むなかで、時の権力者は、「勉強しろ」といい、戦争に一直線でした。

川崎の生涯学習の在り方については、どうでしょう。

碓井さん 川崎の生涯学習の基本は、第一に人間は死ぬまで勉強する能力を持っており、その力を行政が側面から支援し引き出す。

次に、学習した成果を権力者が持ち去るのでなく、学習した本人が



自由に意見出しあう場

地域教育会議

自分のものにし役立てる。そのために住民が主体的に勉強するシステムを作る。これが川崎市教育懇談会以来、一貫した考えです。

「川崎らしさにこだわらね」とはこのことですね。

碓井さん 行政が住民に「これを学びなさい」と言うのではなく、住民が助け合いながら、自ら考え学ぶ姿勢をつくるのが大切です。(力強い口調で)。

——その手立てとして「地域教育会議」の設置を提案されていますが……。

碓井さん 地域教育会議の目的は「地域の人が集まり、考えを述べ合い、その意見を集約して行政にモノを言う」。「合意」の前段で、住民が自由に意見や悩みを述べ、える組織でなければ意味がありません。

——地域教育会議のメンバーの

構成を見ますと、気軽に悩みを出し合う雰囲気か疑問です。

碓井さん いまは行政が「挑発」(問題提起)している段階です。

その挑発を住民が受け、各地域で工夫を凝らすことが重要で、それがないと本当の地域教育会議になりません。

——市教委には学校教育と社会教育がありますが、両方をドッキングさせないと地域教育会議は機能しないのでは……。

碓井さん ユネスコが生涯教育を提起した時、「学校教育を改造すると同時に社会教育、社会全体の改造をもドッキングさせる」としています。地域教育会議のテーマに学校教育の改革も入ります。

——地域教育会議の責務はすこいのですか。

碓井さん いま、学校五日制の実施に伴う、「受け皿」が問題になっています。しかし土曜の授業時間(四時間)を他の曜日に回し、ゆとりが出ないことの方が問題です(身を乗り出して)。

——根本問題が未解決?

碓井さん 日本の小学校の登校日数は年間二百二十日ぐらい。欧米など先進国は百八十日です。文

碓井 正久さん

うすい・まさひさ=大正11年5月生まれ。昭和24年、東大文学部卒。同26年、東大大学院卒。44年、東大教授。50年、東大教育学部長。現在、東大名誉教授。昭和59年、川崎市教育懇談会会長。平成2年、川崎市生涯学習推進基本構想策定調査委員長。同3年、同基本計画策定調査委員長。著書は「戦後日本の教育改革～社会教育」など多数。

部省の指導要領に基づく授業時間は千時間を超えている。百八十日にするとう授業時間が足りなくなる。だから、教える内容を精選して、授業時間の短縮が「ゆとりある学校」の前提ですよ(大きくうなずきながら)。

——おっしゃる通りですが、受験競争があり学力の低下を心配する父母もいるのでは……。

碓井さん そこがネックになっていますね。だが、ドイツの学校は半日制なんですよ。

——全日制ではないのですか。

碓井さん ドイツでは全日制にするとう先生が「神経を使う仕事を

学校の5日制 教える内容を精選し 授業時間の短縮が急務



施設がなければ、参加しにくいと思うのですが。

碓井さん 空き教室を地域に開放し、講座を開き話し合う場にする。保育施設としても利用する。縦割り行政のなかで、調整が難しいでしょうが、ここまで踏み込まないと本物の学習社会は……。

——実現させたいですね。
碓井さん 新たに数多く身近な学習施設や保育所を造るのは、財政上困難です。今ある施設の利用を真剣に考える時ですよ。

——実現可能なお話ですね。
碓井さん 昔の小学校は、地域のコミュニティセンターの役割を果たしていました。地域教育会議が、現代のこの役割を担うことを願っています。

——気軽に住民が要望を出せる場が地域教育会議で、それを行政が尊重する。いいですね。
碓井さん それに、高齢化社会

長時間やれるか」と辞めてしまう。とにかく「教える内容をコンパクトにして、子供の心身を守ることが大切」の世論合意が課題です。
——目が輝いていた新小学生が、高学年になると、その輝きを失うようでは悲しいですね。

碓井さん 学校の先生方に、今のままで五日制になって、満足な授業ができるか検討して欲しいですよ。文部省に学校改革を求める気迫を期待したいですね。

——このままでの五日制は、親も子も先生も大変ですね。ところで、お年寄りや子育ての最中の主婦が学習するには、地域に身近な

が急激に進むと行政が細かな老人福祉を実施できなくなる。地域の助け合い、協力が不可欠になります。その相談や知恵を出し合う場も地域教育会議です。ですから住民からの盛り上がり、なによりも大切です。

——同会議への市民の関心は高まっているとお考えですか。

碓井さん まだまだ、これからでしょう。教育懇談会の時、各區ごとに多くの集会を開きましたね。あの経験を生かし、「日常生活の上からも必要」との理解が深まることを期待しています。

——ところで川崎市生涯学習振興事業団をどうお考えですか。

当事業団は市民大学を 各市民館は成人学校を

碓井さん 事業団に期待したいのは、高齢化社会に対応した長期

篠沢 惺子さん

しのざわ・せいこ=20年間のOL生活を経て、昭和59年から地域でボランティア活動。現在、ドキュメント映画・ビデオの普及をめざす「区民シネマ」代表、宮前区民懇話会広報委員。今年3月、中小企業婦人会館で開いた「川崎の生涯学習を語る市民サロン演劇」で脚本・監督を担当。自宅は宮前区犬蔵1の34。



間、すべて講座のレベルも高く、資格もとれる「市民大学」です。市民館は、住民の直接的ニーズに答える成人学校など、短期間の講座を大切にしていこう。もう一つは住民が要求しないが、生きていくために必要な知識を市民大学で学ぶ。市民館の短期講座と事業団の「市民大学」とを組み合わせ、一生学習できればと思うのです。

——先生のお話を聞き、楽しくなりました。ありがとうございます。

（「いまを話す」の題字は高橋清・川崎市長。協力：宮前市民館、中原市民館。文責・構成 田中園）

遠藤周作著 沈黙 新潮社

背教者にも寛容な解釈

川崎市麻生区金程 主婦 室伏陽子さん

浄土真宗の熱心な両親に育てられた私と、ミッシヨンスクールで青春を過ごした娘との宗教上の相違点で、「沈黙」の日本的キリスト教観ともいえる教示によって母娘



が互いに接点を見つけていることができたと言っている。

宗教心の薄いといわれる日本人だが、この本が発売当時、ベストセラーになり共感を呼んだ理由もそこにあると思った。

印象深かったのは、背教者・ロドリゴについてである。従来のキリスト教では、背教の徒は悪魔の

存在でしかない。だが、同書はロドリゴの背教の過程に目を向け、彼の足跡を容認しているように感じる。寛容な精神構造の日本人に心地よい読後感になっている。

「踏むがいい。おまえの足は今痛いでしょ……そのために私がいいるのだから」。このくだりは、神の真理に厳格なイエスの世界に、寛容な日本的解釈を提示したのではないか。

また「キリストを裏切ろうとして踏みつけた瞬間、今までよりいっそうの信仰を獲得する」は、詭

弁の論法と受け取られる恐れもあるが、私たちの生活の中で日頃、活用していかないだろうか。

ロドリゴは「たとえあの人は沈黙していたとしても、私の今日までの人生は、あの人について語っていた」と述べている。それゆえに、彼が背教者に転落した司教であつても、救われる存在なのだ。カトリックの熱心な信者である作者だからこそ、敢えて、カトリックの世界に仏教的解釈で挑むことができ、世代を越えて共鳴できたのではないか。

宮城谷昌光著 夏姫春秋 古代中国三部作

妖花も弱肉強食の歴史の波に……

川崎市幸区南加瀬 会社員 中山広吉さん(73)

私は中国旅行が好きで、今も留学生の世話をしたり、文通仲間が

数人いて、日本のお父さん等と呼ばれたりしている。そんななか、中国の歴史の中で印象深い人物が鄭の国の夏姫である。

春秋時代鄭は中国の中心に位置している。古くからあつた国ではなく周の宣王の弟桓公により西方にたてられ、二代目武公の時移転

しまんまと要衝を占めた。

夏姫の父、蘭は彼女が生れて二、三年後に鄭の君主になっている。

十歳を過ぎたばかりの夏姫の寝所に忍んできたのは兄だという。

肉親によって開花された彼女の艶美は、後宮の妃妻をしのぐほどで、

十一、二歳の少女が大人の眼を驚かすほどの女の魅力をその体貌からあふれさせたのだから、夏姫は

春秋時代の妖花と呼ぶほかない。

この夏姫の運命とオーバーラップさせ、その後、日本の戦国時代と同じく、中国全土に英雄割拠し、

弱肉強食のすさまじい歴史が描かれている。隣国に高価な貢物や政略結婚等、あらゆる手を尽くし自

国の繁栄、国土の拡大を図つたという。一日一日が枕を高くして寝られない日であつたろう。まして

一夫多妻で女性の人権など認められず、女性は随分泣いたことだろう。栄枯盛衰は世の習い、世の東西を違わず繰り返されて今日の世界があるのかと、つくづく思う。

この恵まれた現在の日本、毎日の暮らしの中で次代を背負う若者たちに、何を教え、何を残していかなければならないかを痛感する。一人はみんなの為に大勢は一人の為にという有名な言葉を、ふと思いだした。

ご投稿をお待ちします

一行15字、42行です。

申し込み
締切り迫る

かわさき★合奏音楽会 公開オーディション

★若い有望な新人の登竜門として開催し、川崎の音楽文化を高める

- 開 催 — 6月28日(日) 川崎市教育文化会館大ホール
- 参加資格 — 川崎市に在住、在勤、在学(高校生以上)する15歳以上でオーディション合格後、合奏練習に参加可能な方
- 演奏種目 — ピアノ、弦楽器、管楽器、声楽、その他主催者が適当と認めたもの(ただし、邦楽は除く)
- 曲 目 — 自由曲 □審査時間 — 1人約5分 □費用 — 無料(ただし、伴奏は自己負担)
- 審査員及び合奏指導 — 弘中 孝(ピアノ、東京音大教授)・久保陽子(ヴァイオリン、フリー)=予定・
店村真積(ヴィオラ、読売日本交響楽団)=予定・毛利伯郎(チェロ、読売日本交響楽団)・
大里洋子(声楽、洗足学園大教授)
- 申込方法 — 所定の申込書に必要事項を記入し、住所、氏名を書いた連絡用の官製はがきと封筒(62円切手貼付)を添えて ☎ 952-5000の当事業団へお申し込みください。
- 申し込み締 切 り — 6月7日(日) (当日消印有効、持参は午後4時まで)

前売り・電話予約
迫る!

かわさき★サマーナイトコンサート

★ ★ ★ 映画音楽とクラシックの名曲 ★ ★ ★

- 日 時 — 7月28日(火)・P. M 6時45分開演
- 会 場 — 川崎市教育文化会館 大ホール
- 出 演 — 指揮者・小松一彦 ソリスト・塩田美奈子
管弦楽・新星日本交響楽団 司会・大島智子
- 曲 目 — 映 画 音 楽=風と共に去りぬ、太陽がいっぱい
スターウォーズ、エデンの東、ライムライト ほか
クラシック=プッチーニ「マノン・レスコー」から「間奏曲」、
ヴェルディ「椿姫」から「花から花へ」、
シューベルト交響曲第8番「未完成」口短調 ほか
- 入場料 — A席 3,000円・B席 2,000円(全席指定)
- 前売り — 6月16日(火) 発売・電話予約開始
- ☎ 044-952-5000の川崎市生涯学習振興事業団(主催)
- ☎ 044-233-6250の同事業団情報コーナー
- ☎ 044-222-3090の川崎音協
- ☎ 044-244-1251の京急川崎駅前文学堂書店
- ☎ 044-245-3168の西武川崎店チケットセゾン
- ☎ 044-511-5491の鹿島田駅前北野書店

ソリスト
塩田美奈子



■予約・問い合わせは
■予 約 ・ 発 売



楽譜を点訳する アンダンテ

グループ紹介

目的の不自由な音楽愛好家や演奏家のために、「アンダンテ」―飯田洋司代表(47)ら七人は毎週木曜日、中原区小杉町の総合自治会

喜び盲人演奏家の顔 思いうかべ意欲的に

館で点訳の楽譜づくりに励んでいる。

飯田さん自身、全盲の音楽家。点訳楽譜の出版物が少なく不便を感じ、一九八七年九月、健常者の協力を得て会を発足させた。

「点訳された楽譜が欲しい」という要望は多く、依頼された楽譜をもとに、会員が一曲ずつ点訳を受け持つ。

会員は同じ旋律をチェックし楽譜の下読みをしてから、点訳機に向かい、一つ一つの音符を打ち込む。これをフロッピーに写しプリントアウト、校正を繰り返す。

「MAPLELEAF RAG」の演奏時間は、わずか三分足らずだが、点訳完成までに一カ月を費やす。点訳楽譜の量は、原本の二〜四倍になり、プリント速度はB5版一枚で一分。プリンターは川崎市に三台しかなく同会が使う時間も制約される。プリンターの紙代、一枚五円は依頼者の実費負担。

これまでに点訳した四十曲の楽譜を多くの人に活用してもらおうと、全国の盲学校に手紙を出し活動の輪を広げている。

昨年十一月、同館の「作品発表

会」で飯田さんがサククス、黒松安規子さんがピアノを弾き、「城ヶ島の雨」など四曲を披露し喝采を浴びた。「私たちが作った点訳楽譜を使って、演奏しているのを聴けたのが嬉しかった」と竹内ヒサさん。

点訳六年目になる垣屋多恵子さんは「根気のいる仕事だが、みんなが集まり、この仕事に意義を見出し、とても楽しい雰囲気です」と話す。メンバー全員が音楽を愛する心と信頼で結ばれている。

飯田代表は「要望のあった曲をどんどん点訳したい」と意欲をのぞかせる一方「ボランティアでなく、国や地方自治体が身分を保証した職業団体ができて、欲しい点訳楽譜がすぐに手に入るようになるれば、目的の不自由な人の演奏者が増える」と希望を話す。

点字は、一八二九年、フランスの音楽家ルイ・ブライユによって考案された。縦三点、横二点の六点の組み合わせによる表音文字。同代表宅は多摩区東生田二一〇一四、☎044193210733。

(取材・松本 成代、
カメラ・田島 志織)

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演



市外局番のないものは044

学習・文化情報

「公開講演会」制御と防衛◆明治大学生田校舎」▽6月13日(土)は

「身体の中に制御を見る」(明大理工学部精密工学科・嘉納秀明教授)、「医用機器にみる制御技術」(同・小山紀講師)、「ロボットの裏ぶたを開いてみる」(同・小林博明助教授)▽

6月27日(土)は「アレルギーと細胞」(東大農学部・上野川修一教授)、「魔女タンパク質による肝臓障害の修復」(明大農学部・高橋直躬教授)、「いずれも13」16時半。聴講無料。当日直接来校。明大科学技術研究所(☎934-7613)の主催。

「初めてふれるパソコン」◆教育文化会館」7月7、9、11日10～16時。対象は初めての方。定員30人(定員を超えた場合は抽選)。使用機種はNEC・PC9801。受講料7千円、教材費1800円。申込みは6月24日までに☎952-5000の川崎市生涯学習振興事業団(主催)か☎233-6250の同事業団情報コーナー。

「親子でふれる初めてのパソコン」◆教育文化会館」7月28、29、30日

10～15時。対象は初めての親と小学5、6年生の子。定員15組(定員を超えた場合は抽選)。使用機種はNEC・PC9801。受講料1万円、教材費1800円。申込みは6月24日までに☎952-5000の川崎市生涯学習振興事業団(主催)か☎233-6250同事業団情報コーナー。

「エアロビクス・油絵・社交ダンス・人形劇入門、レクリエーション研修会」◆県立高津青少年会館」▽エアロビクスは6月16、30日の毎週火曜日全3回。定員20人。▽油絵は6月17、7月1日の毎週水曜日全3回。定員10人。▽社交ダンスは6月3、7月1日の毎週水曜日全5回。定員20人。▽人形劇は6月11、7月23日の毎週木曜日全7回。定員10人。▽レクリエーションは6月19、7月10日の毎週金曜日全4回。定員20人。いずれも18時半～20時半。申込みは☎844-2101の同館。

「健康増進講座」◆大師保健所」6月1～22日の毎週月曜日。初日は9時半、その他は9時から。全4回。医学的検査や体力測定で自分の健康の度合いを把握し、それにそった指導を受ける。講師は体育指導員・石川満世さん他。対象は大師支所管内に住所がある18歳以上で、医療機関で治療を受けていない方。定員15人。検査料は40歳未満の男性が3930円。その他年齢などにより異なる。申込みは☎266-0128(内)21の同保健所保健予防課。

「八八・ママ入門講座」◆幸市民館」6月13、7月11日の毎週土曜日14～16時。全5回。妊娠・出産の知識から育児や家庭環境について学ぶ。受講料無料。対象はこれから親になる男女。定員50人。申込みは6月6日10時から☎541-3910の同館。

「地域セミナー」◆幸市民館」6月18、10月8日の毎週木曜日14～16時。文化遺産が語る地域の歴史をテーマに現地見学・調査をおりませて学習する。講師は京浜歴史科学研究会の新井一弘さん他。受講料無料。対象は市内在住在勤の15歳以上。定員40人。申込みは6月11日10時から☎541-3910の同館。

「気管支ぜん息知識普及講演会」アレルギーとぜん息◆幸市民館」6月20日(土)13時半～16時。講師は都立豊島病院小児科医長・松井猛彦さん。申込みは6月1、12日に☎200-2436の衛生局管理部環境保健室(主催)。

「ふれあいリーダー実践講座」◆中原市民館」6月2、30日の毎週火曜日18時半～20時半。全5回。地域の輪をつなげるリーダーに必要な知識を深める。受講料無料。対象は地域活動に関心のある方。定員20人。申込みは☎722-7171の同館。

「子ども発達を内側から見る」◆日本女子大・西生田キャンパス」7月4日(土)14～17時。講師は東大教育学部教授・佐伯胖さん。参加費300円、学生は無料。当日直接来校。詳しくは☎03-3942-6180の日本女子大児童研究所。

「宮前ヤングアダルトゼミ」英語で遊ぶ◆宮前市民館」6月24、10月3日。平日は19～20時半、土曜日は

10～15時。対象は初めての親と小学5、6年生の子。定員15組(定員を超えた場合は抽選)。使用機種はNEC・PC9801。受講料1万円、教材費1800円。申込みは6月24日までに☎952-5000の川崎市生涯学習振興事業団(主催)か☎233-6250同事業団情報コーナー。

学習・文化情報

参加したい催しがある

13時半～16時。全10回。講義と英語で料理や茶道、七宝焼の実習。7月25～27日は宿泊学習。定員30人。受講料は無料だが、教材費は実費負担。申込みは6月16日10時から ☎ 888-3911 の同館。

スポーツ



〔少年スポーツ教室(球技・体操)市体育館〕7月21～31日10～12時。全6回。対象は小学1～6年生。球技と体操を通してスポーツの楽しさと仲間づくりをする。定員60人。受講料無料。申込みは7月2日10時。詳しくは ☎ 200-3255 の同館。

催し



〔岩手県ふれあいサマーキャンプ〕7月30～8月2日の3泊4日(うち2泊はホームステイ)。対象は小学5、6年生。定員80人(定員を超えた場合は抽選)。参加費2万3千円。申込みは6月30日までに電話で主催の川崎市生涯学習振興事業団 ☎ 952-5000 か同事業団情報コーナー ☎ 233-6250。

〔北海道ふれあいサマーキャンプ北海道中標津町〕8月18～21日の3泊4日(うち2泊はホームステイ)。対象は小学6～中学2年生。定員40人(定員を超えた場合は抽選)。参加費小学生3万5千円、中学生5万5千円。申込みは6月30日までに主催の川崎市生涯学習振興事業団 ☎ 952-5000 か同事業団情報コーナー ☎ 233-2650。

〔市民天体観望会◆青少年科学館〕直径40cmの望遠鏡で星を見る▽6月6日(土)19時半～21時。月(月齢5日)、木星を観察▽20日(土)20～21時半。木星、星雲、星団を観察。▽7月11日(土)20～21時半。月(月齢11日)、木星を観察。雨、曇りの時は中止。申込み不要。小学生以下は保護者同伴。同館は ☎ 922-4731。

〔天体写真撮影会◆青少年科学館〕7月5日(日)19時半～21時半。月(月齢5日)を撮影。対象は小学5年～成人。定員14人。小学生は保護者同伴。雨、曇りの時は中止。申込みは6月7日から ☎ 922-4731 の同館。

〔プラネタリウム◆青少年科学館〕6月の話題は「ミニ氷河期と太陽黒点」、7月の話題は「天の川を探る」。一回約45分。投影開始時刻は火～金曜日は15時▽土曜日は13時半、15時

▽日曜・祝祭日は10時半、12時、13時半、15時。定員238人。大人百円、子ども50円。30人以上の団体予約は半額。同館は ☎ 922-4731。

〔6ミリ映写技術講習会◆2市民館〕▽6月6、7日は幸市民館(☎ 541-3910)で受付け中。▽6月27、28は中原市民館(☎ 722-7171)。申込みは6月14日14時に来館。いずれも2日間で1講習。初日は13時半～16時半、2日目は9～16時半。受講料は無料だがテキスト代500円。対象は市内在住在勤の15歳以上。定員40人。

〔未来塾実行委員募集◆中原市民館〕学んでみたい事、楽しんでみたい事を企画し、運営、実行に携わる。実行委員会は月1回で1回目は6月20日10時から。対象は市内在住在勤の方。定員15人。申込みは ☎ 722-7171 の同館・社会教育振興係。

〔手づくり楽器で楽しもう◆新城こども文化センター〕6～12月の原則として第1・3金曜日17～19時。全10回。受講料は無料だが教材費は実費負担。対象は小学3年生以上。定員20人。申込みは ☎ 788-8055 の同センターか ☎ 722-7171 の中原市民館。

〔自然観察会1コウモリの帰巢、川虫を調べよう〕▽コウモリの帰巢は7月19日(日)(雨天の時は8月2日)早朝3時50分、JR南武線宿河原駅改札に集合。日の出とともにねぐらに帰るアゴラコウモリを多摩川で観察する。定員15人。申込みは6月19日から▽川虫を調べようは7月22日(水)(雨天の時は24日)10時、JR五日市線武蔵五日市駅改札に集合。環境により住む種類の異なる水生昆虫を観察する。指導は小林貞・カリタス女子中高教諭。定員20人。申込みは6月23日から。いずれも対象は小学4年～成人。小学生は保護者同伴。申込みは ☎ 922-4731 の青少年科学館(主催)。

〔自然教室1地質11有孔虫化石の採集、天気図、水を調べる、太陽工ネルギー◆青少年科学館〕▽化石の採集は6月28日(日)13～16時。雨天決行。申込みは6月16日から。▽天気図は7月21日(火)10～15時。気象通報を聞いて天気を書く。申込みは6月23日から。▽水を調べるは7月23日(木)10～15時。小雨決行。生田緑地の湧き水の水質を調べる。指導は創造教育研究所の青柳隆二さん。申込みは6月23日から。▽太陽エネルギーは7月25日(土)10～15時。その利用法を実験を通して考える。申込みは6月25日から。いずれも対象は小学4年～成人。定員20人。申込みは ☎ 922-4731 の同館。

学習・文化情報

参加したいグループがある

〔実験教室◆青少年科学館〕6月28日(日)10~12時。以後毎月第3または第4日曜日。全8回。いろいろな科学実験をする。対象は小学1~6年。定員20人。申込みは6月1日から☎922-4731の同館。

ギャラリー

〔中原市民館〕▽6月5~10日、パレットクラブ作品展▽同12~17日、静雅書道会刻字展覧会▽同19~24日、中原絵画研究会作品展▽同26~7月1日、川崎美術協会中原展。

ステージ

〔麻生音楽祭〜人と自然を謳う◆麻生市民館〕6月12日(金)はスベシヤルコンサート。川崎室内管弦楽団によるヴィヴァルディの「四季」他▽13日(土)はスクールコンサート。小・中・高等学校による「合唱・合奏」▽14日(日)はコーラス&アンサンブル。一般参加の「合唱・合奏」▽20日(土)は昭和音楽芸術学院のミュージカル▽21日(日)はファミリーコンサート。麻生フィルハーモニー管弦楽団によるG・ガーシュウインの「ラプソディー・イン

ブルー」他。12、20、21日は入場券が必要で6月2日10時から同館で配布。麻生音楽祭92実行委員会、麻生区役所、市教委主催。詳しくは☎951-1300の同館。

会員募集

●婦人の体力づくり研究会レディ・ストリム・サークル《麻生区多摩美1-2、依田栄枝代表》心身をリフレッシュし、美しく健康づくりと仲間づくりをしています。月4回木曜13時半~15時半、多摩市民館・体育室内で。連絡先は☎966-12215、月・水か17時以降同代表宅。

●多摩淡彩画研究会《多摩区南生田5-20-12、茂木美術代表》淡彩画の勉強を通じて地域文化の向上と親睦を深めましょう。第1・3水曜9時半~12時半、多摩市民館で。連絡先☎977-5313同代表宅。

●中原川柳同好会《中原区上九子山王町1-14-23、田中静夫代表》先生は横浜黒潮吟社主幹、志水剣人師です。明るく楽しく勉強しませんか。月1回木曜午後3時、中原市民館会議室で。連絡先☎422-6982同代表宅。

●中原バトミントクラブ《中原区上平間1700水道公舎2-5、渡辺薫代表》バトミントンを通じ、健康な心身を育て、友人の輪を広げてみませんか。毎週火曜9時半~12時、㈱三菱自動車工業平間会館で。連絡先☎555-0594、17時以降同代表宅。

●多摩区登戸629-2、服部久恵代表《ジャズ体操をしながら、姿勢・体質などを若返らせましょう。月4回水曜10~12時、多摩市民館体育室で。連絡先☎922-1863、18時以降同代表宅。

●人形劇団でくすけ《中原区今井仲町364、小田明子代表》人形劇の公演を通して地域の方々と交流しています。毎週金曜19~21時、中原市民館で。連絡先は☎9-17時、03-3583-6355。19時から722-0405(金曜は除く)同代表。

●童話の世界《中原区荏宿8、山本知子代表》子供達へ読書普及のためのお話会や児童図書の研究読書会をしています。お話会は第4水曜14時半~15時中原図書館、読書会は第1・3火曜10~12時中原市民館で。連絡先☎434-0755同代表宅。

●多摩市民館内。連絡先は☎951-1411、19~21時頃同代表宅。
●日本習字研究会《中原区小杉陣屋町2-24-10、久保泰子代表》冠婚葬祭、手紙など日常生活で必要な時のために勉強してみませんか。月4回金曜10~12時、中原市民館内。連絡先は☎722-9496、18時以降同代表宅。

3金曜13~16時、中原市民館で。連絡先☎733-0671同代表宅。
●幸ヨーククラブ《幸区南幸町2-13-1-301、柴田茂子代表》肉体と精神の健康を図り、交流と親睦を深めましょう。月4回金曜13時半~15時半、幸区役所文化会館で。連絡先は☎541-2076の同代表宅。

●J・G・Cジャズ体操研究会《多摩区登戸629-2、服部久恵代表》ジャズ体操をしながら、姿勢・体質などを若返らせましょう。月4回水曜10~12時、多摩市民館体育室で。連絡先☎922-1863、18時以降同代表宅。

●人形劇団でくすけ《中原区今井仲町364、小田明子代表》人形劇の公演を通して地域の方々と交流しています。毎週金曜19~21時、中原市民館で。連絡先は☎9-17時、03-3583-6355。19時から722-0405(金曜は除く)同代表。

●童話の世界《中原区荏宿8、山本知子代表》子供達へ読書普及のためのお話会や児童図書の研究読書会をしています。お話会は第4水曜14時半~15時中原図書館、読書会は第1・3火曜10~12時中原市民館で。連絡先☎434-0755同代表宅。

●多摩市民館内。連絡先は☎951-1411、19~21時頃同代表宅。
●日本習字研究会《中原区小杉陣

屋町2-24-10、久保泰子代表》冠婚葬祭、手紙など日常生活で必要な時のために勉強してみませんか。月4回金曜10~12時、中原市民館内。連絡先は☎722-9496、18時以降同代表宅。

●多摩淡彩画研究会《多摩区南生田5-20-12、茂木美術代表》淡彩画の勉強を通じて地域文化の向上と親睦を深めましょう。第1・3水曜9時半~12時半、多摩市民館で。連絡先☎977-5313同代表宅。

●中原川柳同好会《中原区上九子山王町1-14-23、田中静夫代表》先生は横浜黒潮吟社主幹、志水剣人師です。明るく楽しく勉強しませんか。月1回木曜午後3時、中原市民館会議室で。連絡先☎422-6982同代表宅。

投稿と推薦のお願い

〒215 川崎市麻生区万福寺1の2 新百合21ビルB2 ☎ 952-5000
(財)川崎市生涯学習振興事業団「Stage Up」編集チーム

月刊「Stage Up」は、市民のみなさまの声を生かし、取材・編集する生涯学習情報誌です。みなさまのいっそうのご支援、ご協力をお願いします。特に下記についての投稿、推薦を呼びかけます。

★ 「心にのこる私の一冊」へ投稿してください

感動した本、他の方にも勧めたい本の感想をお寄せください。本の題名▽著者▽出版社名▽ご自分の住所、年齢、職業、氏名を明記し▽感想文は1行15字で、42行程度にまとめてください。一部削除することもあります。掲載後に記念品（テレホンカード）をお送りします。

★ 小誌についてのご意見をお寄せください

小誌の「ほんねインタビュー いまを話す」「随想 思いつくまま」「心にのこる私の一冊」「はりきってます グループ紹介」などの内容やレイアウト、生涯学習についてのご意見、ご感想を100字以内にまとめてお送りください。原稿の削除、リライトした時はご了承ください。ご自分の住所、氏名、年齢、職業、電話番号も明記してください。掲載分には記念品をお送りします。

★ 「ほんねインタビュー いまを話す」の
ゲスト、インタビュアーをご推薦ください

川崎市内の各分野の第一線で活躍の方々をゲストに招き、市民がインタビュアーを務める本欄は、回を重ねるごとに好評です。みなさまから「こんな人を登場させて」「この人なら聞き手に最適」との推薦理由を簡単に記し、あなたの住所、氏名、電話番号を添えてお送りください。採用させていただいた場合、記念品をお送りします。またゲスト、インタビュアーには薄謝を差し上げています。

なお、ご意見、ご推薦は電話でもお受けしますが、編集チーム職員不在の場合はご了承ください。

心の聲

勇氣あふれる紙面に感心

東京都新宿区、全国婦人新聞記者

関千枝子さん 「Stage Up」

のモリモリ勇氣あふれるような紙面に感心しています。川崎には友人が

たくさんいます。川崎には友人が

本誌は民間公共施設のご協力により 120カ所で配布

「Stage Up」の無料配布場所は前号より一カ所減り、百二十カ所になりました。東急日吉駅からお断りの電話があつたためです。ご了承ください。ところで5月号は月刊化記念増ページの32ページで、無料で小誌を置いてくださっている関係各位のみなさまに大変ご苦労をおかけしました。生涯学習時代を築くには、このようなご理解、ご協力が不可欠です。生涯学習に関心をもつ多くの市民のみなさんに「Stage Up」を確実に、しかも効果的に読んでいただくため、今後ともよろしくお願い申し上げます。

たくさんいて、皆、生涯学習の講師が務まるほどです。今後の紙面に期待しています。

意気込み汲み取れる小誌

多摩区長尾 高須三郎さん 「Stage Up」を楽しく拝見しています。公共団体的出版物には珍しく

意気込みが汲み取れ、個性が確立し

小売店

さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽イトーヨーカドー溝口店

金融機関

川崎信用金庫本店と川崎市内の全支店(川崎地下街出張所・小田支店・京町出張所・大島支店・大師支店・渡田支店・遠藤町支店・加瀬支店・小倉出張所・鹿島田支店・古市場出張所・御幸支店・新城支店・住吉支店・武蔵小杉支店・新丸子出張所・平間支店・宮内支店・向河原支店・梶ヶ谷支店・子母口支店・高津支店・二子新地出張所・野川支店・有馬支店・向ヶ丘支店・稲田堤支店・宿河原支店・中野島支店・長沢支店・登戸支店・柿生支店・百合丘支店)

▽横浜銀行川崎市内の全支店(川崎支店・大島支店・大師支店・御幸支店・鹿島田支店・武蔵小杉支店・新城支店・元住吉支店・溝口支店・鷺沼支店・川崎北部市場支店・登戸支店・稲田堤支店・生田支店・読売ラ

ンド駅前支店・百合丘支店・新百合ヶ丘支店・柿生支店)
▽住友銀行川崎支店・宮崎台支店・新百合ヶ丘支店
▽太陽神戸三井銀行溝口支店・柿生支店
J.R川崎駅▽J.R登戸駅

心なごませる小誌の絵

藤沢市高村、川崎在勤 橋本さん

意気込みが汲み取れ、個性が確立し

つつあります。もう少し大衆的要素を取り入れたらどうでしょう。例えば川崎の何が日本一とか、自慢するコーナーがあればと思います。

市立井田病院▽市立川崎病院▽聖マリアンナ医科大学病院▽つつみ歯科新百合ヶ丘

東京電力川崎支社・高津営業所・生田営業所

文学堂本店(京急川崎駅横)

公共施設

教育文化会館▽情報コーナー▽市民館▽高津市民館▽中原市民館▽宮前市民館▽多摩市民館▽麻生市民館▽菅生分館▽岡上分館

▽県立川崎図書館▽幸図書館▽高津

「Stage Up」5月号は驚くほどグレードアップしたと思います。表紙の絵がカラーになり、とても魅力的です。高橋市長の随想は若者への期待感が温かく伝わります。カットの絵も心を和ませます。絵をもっと大きく載せていただければと思います。

▽市役所▽川崎区役所▽幸区役所▽中原区役所▽高津区役所▽宮前区役所▽多摩区役所▽麻生区役所▽福祉バルあさお▽労働会館▽エポックなかはら▽中小企業・婦人会館▽総合自治会館▽市民プラザ▽労働資料室▽消費生活センター▽ヨネッティ▽堤根▽ヨネッティ▽王禅寺▽産業振興会館▽フルーツパーク▽緑化センター▽県立勤労女性会館▽神奈川県第二中高年齢労働者福祉センター「サンライフ川崎」

（この他、老人いこいの家に若干部数置いてあります。）

ミニシアター

都立多摩社会教育会館に「Stage Up」専用ファイル 当事業団発行の「Stage Up」は全国の主な社会教育施設や研究機関(者)200カ所に送っているが、このほど都立多摩社会教育会館の森屋長雄館長から「当館市民サービスコーナーに、小誌専用ファイルを作成し、広く市民に利用していただくようにいたしました」とのお手紙があった。

同館発行の「三多摩だより」を送っていたが、当事業団は保管や市民サービスはしていない。多摩社会教育会館の姿勢に敬服すると同時に見習う必要がある。

各党派メッセージ掲載に評価分かれる 小誌5月号で川崎市議会各党派のメッセージを掲載したところ、「それぞれの党の生涯学習に対する考えの一端が分かり、比較できて良かった」と高い評価があった。その反面、「文字が長々と続き月刊化記念の紙面構成としては面白くない。各党の主張を掲載するならシンポジウムをやるべきだ」との厳しい批判も出た。編集チームは「企画を十分煮詰めなかった」と率直に反省しているが、「小誌の読者は本当に良く読んでくれている」が感想。

かわさきコンサートの会場でお叱り 5月号で「かわさきコンサート」特集を掲載したが、なぜ、会場が教育文化会館ばかりなのか」と高津、宮前、多摩、麻生の住民からお叱りの声。前年度まで同館の主催事業を今年度、当事業団に委託された経過があり過渡期に当たる。来年度から本格的に当事業団のイベントになるので、各市民館と十分協議し、ご期待に添えるコンサートの運営ができると考えている。

PR効果も十分な小誌の広告 小誌の民間の広告掲載を始めたのが、昨年の9月号から。広告も情報源。小誌の堅いイメージを克服するためにも掲載したい」との考えでスタート。スポンサー回りで3社に1社は「障害者の教育といえますと……」と早とちり。そうでなくても、ほとんどの企業が淡い顔。無名誌に広告を載せてもPR効果が期待できない」

との顔付き。その中であるデパートは「21世紀に向け価値あるお仕事。年5回協力します」。そして生涯学習にご理解を示す企業が急速に増えた。先日、あるスポンサーが「結構PR効果がありますよ。事業団と御誌の信頼はすごいですよ」と具体的な例を示し話してくれた。

「Stage Up」テレカ 小誌に投稿、掲載されても記念品一つ贈呈してなかったが、現在、記念品用のテレホンカードをNTTに発注している。デザインはバラの花で、作者は、3月号掲載「いまを話す」の川崎市名誉市民で彫刻家の圓鍔勝三さんをインタビュした清水幹子さん(二科会所属)にお願した。非売品ですので、直接取材に協力された方や「心の中の私の一冊」読者の声」に投稿され掲載分に限り、過去にさかのぼって贈る。ご了承ください。

編集後記

雑誌の顔は表紙ですが「Stage Up」5月号で月刊化に伴い表紙をカラーにしたところ、中原区の主婦、山田さんから「多摩川大橋の絵は個人的で、それに釣られ初めて銀行に置いてあった

貴誌を手にしました。内容も充実しており、感激しています」とのお電話
▼多摩区の迎入ミ子さんからは「上質の文化雑誌のような読後感です。川崎市の施策「川崎の文化化」の手足となる情報誌になるのではと期待しています」との葉書▼小誌は取材、原稿書き、レイアウト、出稿、校正、広告依頼まで、編集チームがやり、配送作業は事業団職員の大半が参加してます▼依頼・委託の冊子では、市民のみなさんの熱い期待を肌で感じることも無いはず▼さて、今号の「いまを話す」のゲスト、笹井さんとインタビュアーの篠沢さんは初対面でしたが、普通の市民の篠沢さんは鋭く問題点を突く質問をし、笹井さんが率直に意見を述べていました▼その取材前、テーマが生涯学習のため、「一般受けしないインタビュ記事になるのでは……」との心配が編集チーム内にありましたが、「分かりやすく興味をひく内容」と同行した職員は自信満々でした。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒216 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
電話(〇四四)九五二一五〇〇 FAX(〇四四)九五二一三三三
〒210 同市川崎区富士見二の一の三 教育文化会館一階
電話(〇四四)二三三三六五〇

同事業団生涯学習情報コーナー

編集人 田 中 啓

楽しさを贈る、 さいか屋の商品券



さいか屋(川崎店・横須賀店・藤沢店・町田ジョルナ
サイカマート、及び三越提携店グループでご利用頂
けます。
☆1,000円より、ご予算にあわせて
各種ご調整いたします。

■川崎店・1階商品券コーナー



さいか屋川崎

〒210 川崎市川崎区小川町1番地
TEL. 044-211-3111

〈横浜銀行〉だけの1枚3役、 スーパーカード。



YOKOHAMA BANK CARD INTERNATIONAL

- ① 海外・国内でショッピング、キャッシング。
- ② 全国の銀行、提携金融機関で、お引き出し。
- ③ 急な出費時には、自動融資で安心便利。

VISA、マスター、JCBの3ブランドからお選びください。



主役は、横浜バンクカード。

加藤雅也

お問い合わせ・お申し込みは  **横浜銀行** 川崎支店 (044)222-5521 (大代)